

議会だより

＊特 集＊

シリーズ

地域の伝統文化②

大助ばやし保存会

インタビュー

Contents

特集	2
議会構成紹介	4
平成30年度予算	6
議案審議	8
臨時会	12
議員勉強会	13
一般質問（質問者9名）	14
百条委員会	19
閉会中の議会活動	20
次回定例会の開会予定	22

* 特 集 *

シリーズ
地域の伝統文化②

大助ばやし保存会 インタビュー

「大助ばやし」は、昨年遷宮 160 周年を迎えた菅谷鹿島神社の祭事として行われる「大助まつり」の際に、山車の上で奏でられる太鼓と笛によるおはやしです。

那珂市無形文化財に認定されている大助ばやし保存会の方からお話を伺いました。



おはやし太鼓は耳伝えなので

小学生のうちからやってもらいたい

大助ばやしはどのように始まり、今日に至っていますか。

鎌倉時代に東北征伐に向かう若者を助けたのをきっかけに「おたすけ」という祭事になり、鹿島神社が今の場所に遷宮された安政4年からはお祭りとして行われてきたようです。昭和34

年に一時中断しましたが、昭和50年から3年に1度の開催になりました。

大助ばやしにはどんな特徴がありますか。

9つの山車の上部が回転し、全力疾走で山車を引くその勇壮さが大助まつりの特徴です。

9地区それぞれのような活動をしていますか。

ひまわりフェスティバルには毎年輪番で参加しています。

運営資金はどのようになっているのでしょうか。

会員さんからの会費で運営しています。子ども会か

らはいたいていませ

後継者の育成に関して課題はありますか。

現在は9つの保存会でそれぞれ第2、第4土曜日に練習しています。9地区それぞれでおはやしが違います。一時は統一したこともあったのですが、それぞ



の特徴を大事にしようという
ことで、今は統一していま
せん。おはやし太鼓は耳
伝えなので、小学生のうち
から高校生までやってもら
いたいです。

市や市議会に対してどのよ うなことを期待しますか。

大助ばやしは那珂市無形
文化財として平成16年12
月、第1号として認定され
ました。

那珂市にこういうものが
あるということをPRして
もらいたいですね。出演機
会が増えればありがたいで
す。山車の出演、おはやし
の出演など、案内があれば
協力は惜しみません。

●次回大助まつりのご案内

前回は平成28年夏に開催
されました。次回は平成31
年8月15日に開催されま
す。全国でも珍しい上部が
回転する山車が菅谷地内9
地区から出され、勇壮に練
り歩きます。お楽しみに。

那珂市議会構成変更

新しい構成による議会がスタート

平成30年3月5日の本会議にて、正副議長及び各委員会の構成を変更しました。ここでは、正副議長、常任委員会など、新しい議会の構成をご紹介します。



議長

君嶋 寿男

ぐあいさつ

那珂市議会は、開かれた議会を目指し、議会基本条例を制定し、5年目を迎えます。今年度から取り入れた座談会での議会報告会、イベントへの積極的な参加、議員同士での課題や論点を戦わせたの勉強会など、市議会のあり方として、市民の皆様身近に感じていただけるよう、更なる改革を積極的に進めてまいります。私は、市民の皆様から付託を受けた代表として、常に市民の側に立ち、市民生活向上のために、使命と責任を果たしてまいります。皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



副議長

古川 洋一

ぐあいさつ

議員は誰のために何をするのか。議員は市民の代弁者。議員全員がその気持ちを忘れなければ、また、一人一人が自分に与えられた役割を全うすれば、議会は自ずと市民のお役に立つ組織となります。ここ数年「何事も人なんだな」を痛感しており、議会改革も形ではなくヒト改革が全てだと思っております。サポートと調整という役を超えず、任に徹したいと思いますが、単なる『議長代理』ではなく、若手議員の意見を汲み上げ、周囲に働き掛ける『動く副議長』を目指す所存ですので、市民の皆様、よろしくお願い申し上げます。

総務生活常任委員会

主に、市の政策や企画、総務、財政、市民や自治組織、環境、防災、消防、市議会の事務のほか、他の委員会に属さない事項について審査する委員会です。

(写真右から)

助川 則夫 委員
君嶋 寿男 委員
笹島 猛 委員
◎萩谷 俊行 委員
○勝村 晃夫 委員
綿引 孝光 委員
※◎委員長、○副委員長



産業建設常任委員会

主に、農業、商工業、観光、道路、都市計画、建築、上下水道、農業委員会の事務に関する事項について審査する委員会です。

(写真右から)

古川 洋一 委員
花島 進 委員
大和田和男 委員
◎木野 広宣 委員
福田耕四郎 委員
○小宅 清史 委員
※◎委員長、○副委員長



教育厚生常任委員会

主に、障がい者福祉、子育て、高齢者福祉、介護保険、保険年金、健康福祉、生涯学習、教育委員会の事務に関する事項について審査する委員会です。

(写真右から)

古川 洋一 委員
寺門 厚 委員
◎筒井かよ子 委員
○富山 豪 委員
中崎 政長 委員
遠藤 実 委員
※◎委員長、○副委員長



原子力安全対策常任委員会

原子力関連施設の安全対策などを所管します。

◎小宅 清史 委員
○綿引 孝光 委員
富山 豪 委員
花島 進 委員
中崎 政長 委員
助川 則夫 委員
※◎委員長、○副委員長

議会運営委員会

議会の円滑な運営のための調整を行うほか、議会改革の推進を担当します。

◎寺門 厚 委員
○大和田和男 委員
筒井かよ子 委員
木野 広宣 委員
萩谷 俊行 委員
笹島 猛 委員
※◎委員長、○副委員長

平成30年度のお金の使い道が決まりました

一般会計予算

207 億 2000 万円

特別会計予算総額

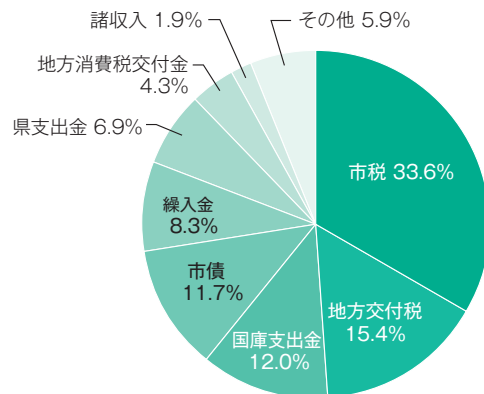
144 億 8600 万円

会計別予算

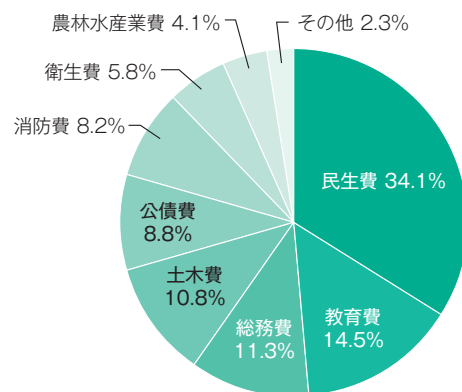
一般会計	
	207 億 2000 万円
特別会計	
国民健康保険	58 億 300 万円
下水道事業	22 億 3000 万円
公園墓地事業	1200 万円
農業集落排水整備事業	11 億 700 万円
介護保険	46 億 800 万円
上菅谷駅前地区土地区画整理事業	1 億 500 万円
後期高齢者医療	6 億 2100 万円
水道事業会計	
収益的支出	10 億 6653 万 5000 円
資本的支出	12 億 5211 万円

3月5日に、市長から平成30年度の予算案が提出されました。予算の審議は、3月13日から15日の3日間にわたって、各常任委員会で行われました。その結果、全ての予算案が市長の提案どおり可決されました。

ここでは、今回決定した平成30年度のお金の使い方と、主な事業についてご紹介します。



一般会計歳入



一般会計歳出



教育支援センター

整備事業

事業費

960万2000円

近年増え続けている不登校の児童生徒の学校復帰など、十分な教育支援を実施する施設を整備するため旧戸多小学校を改修します。今年度は基本実施設計業務を行います。



空き家対策協議会

設置事業

事業費

15万8000円

空き家等の対策計画の作成や、特定空き家に該当するか等を協議するために協議会を設置するものです。予算額は、協議会委員への報酬に使われます。



曲がり屋改修事業

事業費

1168万4000円

平成11年9月に移築した一の関ため池親水公園の曲がり屋の茅葺屋根の修繕を実施します。茅葺屋根の修繕は珍しいことなので修繕時の工程を記録映像として残していきます。

その他 平成30年度の主な新規事業

- ・ 防災設備整備事業 7億90万9000円
- ・ 民間保育所等整備事業 1億9719万円
- ・ 体育施設整備事業 3400万円
- ・ 総合公園施設改修事業 2484万円
- ・ 那珂市長選挙費 2209万8000円
- ・ 茨城県議会議員選挙費 2069万2000円
- ・ 中学校施設整備事業 1050万円
- ・ 菅谷東小学校屋内運動場大規模改造事業 882万4000円
- ・ 芳野小学校屋内運動場大規模改造事業 713万9000円
- ・ 那珂市議会議員補欠選挙費 637万円
- など

●平成30年 第1回定例会●

那珂市の

こんなことが決まりました

◆会期 19日間 3月5日～3月23日

《傍聴者 108人》

今回提出された議案等は

市長提出案件…39件

請願・陳情…3件

議員提出案件…1件

計43件

提出された議案等とその結果
(賛否が分かれた案件はありませんでした。)

※請願・陳情は継続審査のため、結果は出ていません。

議案等番号	議 案 等 名	内 容	結果
報告 2	専決処分について（損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定）	市の過失による事故等に対する損害賠償額の報告。	—
議案 2	那珂市個人情報保護条例の一部を改正する条例	行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律の改正に伴うもの。内容は、定義に関する規定を法律と合わせるための文言の整理。	可決
議案 3	那珂市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	那珂市空き家等対策協議会、那珂市男女共同参画プラン推進委員会の設置にあたり、委員の報酬等を新たに規定するもの。また、那珂市国民健康保険条例の改正に伴い、「国民健康保険運営協議会の委員」の職名を「国民健康保険事業の運営に関する協議会の委員」に改めるもの。	可決
議案 4	那珂市介護保険条例の一部を改正する条例	那珂市高齢者保健福祉計画の策定及び介護保険法の改正に伴うもの。内容は、指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準等の改正。	可決
議案 5	那珂市指定地域密着型サービスの事業に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の改正に伴うもの。内容は、条文の整理。	可決
議案 6	那珂市指定地域密着型介護予防サービスの事業に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の改正に伴うもの。内容は、条文の整理。	可決
議案 7	那珂市指定介護予防支援等の事業に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の改正に伴うもの。内容は、必要な文言の追加。	可決
議案 8	那珂市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	高齢者の医療の確保に関する法律の改正に伴うもの。内容は、国民健康保険の住所地特例の対象者について、後期高齢者医療保険においても同様に住所地特例を適用するもの。	可決
議案 9	那珂市国民健康保険条例の一部を改正する条例	国民健康法の改正に伴うもの。主な内容は、市の運営協議会の名称変更及び葬祭費の支給額引き上げなど。	可決
議案 10	那珂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	国民健康法及び地方税法の改正に伴うもの。内容は、市から県へ納付する国民健康保険事業費納付金を、国民健康保険税の課税額に位置付けるもの。	可決
議案 11	那珂市公共施設の暴力団等排除に関する条例の一部を改正する条例	「しどりの湯保養センター」が平成 26 年に廃止されていることから、「しどりの湯保養センター」の規定を削除するもの。	可決

議案等番号	議 案 等 名	内 容	結果
議案 12	那珂市都市公園条例の一部を改正する条例	都市公園内の運動施設面積の制限について条例に明記するとともに、区画整理の換地処分に伴い上菅谷駅東公園の所在地地番を変更するもの。	可決
議案 13	那珂市危険物規制事務手数料条例の一部を改正する条例	地方公共団体の手数料の標準に関する政令により平成 29 年度が手数料の標準額の見直し年度であることに加え、同政令が改正されることから、危険物規制事務手数料を改正するもの。	可決
議案 14	那珂市一般職の任期付職員の採用等に関する条例	高度の専門的な知識経験等を有する民間人材等を任期付職員として採用できる制度を導入し、一定期間に限り業務量の増加が見込まれる国民体育大会等に対応できるようにするため、採用等の基準を定めるもの。	可決
議案 15	那珂市空き家等対策協議会設置条例	空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、空き家等対策計画の作成や、協議会の設置について規定するもの。	可決
議案 16	那珂市コミュニティ広場の設置及び管理に関する条例	「額田コミュニティ広場」が平成 30 年度から供用開始となることに伴い、その設置、管理について規定するもの。	可決
議案 17	那珂市指定居宅介護支援等の事業に関する基準等を定める条例	介護保険法の改正に伴い、指定居宅介護支援事業者の指定等の権限が市に移譲されるため、その基準を定めるもの。	可決
議案 18	平成 29 年度那珂市一般会計補正予算(第 7 号)	歳入歳出それぞれ 2 億 16 万 5000 円を減額し、総額を 190 億 880 万円とするもの。主な内容は、介護施設等整備事業の減額など。	可決
議案 19	平成 29 年度那珂市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第 4 号)	歳入歳出それぞれ 1 億 4018 万 2000 円を減額し、総額を 66 億 8491 万 7000 円とするもの。主な内容は、保険財政共同安定化事業拠出金の減額など。	可決
議案 20	平成 29 年度那珂市下水道事業特別会計補正予算(第 3 号)	歳入歳出それぞれ 9666 万 1000 円を減額し、総額を 19 億 6531 万 1000 円とするもの。主な内容は、公共下水道整備事業の減額など。	可決
議案 21	平成 29 年度那珂市農業集落排水整備事業特別会計補正予算(第 4 号)	歳入歳出それぞれ 380 万 4000 円を増額し、総額を 11 億 6631 万 7000 円とするもの。主な内容は、基金積立事業の増額など。	可決
議案 22	平成 29 年度那珂市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第 4 号)	歳入歳出それぞれ 1 億 4420 万 3000 円を減額し、総額を 46 億 1270 万 3000 円とするもの。主な内容は、介護サービス給付事業の減額など。	可決
議案 23	平成 29 年度那珂市後期高齢者医療特別会計補正予算(第 1 号)	歳入歳出それぞれ 438 万 9000 円を増額し、総額を 5 億 9638 万 9000 円とするもの。内容は、広域連合給付金の増額。	可決
議案 24	平成 30 年度那珂市一般会計予算	新年度予算。6 ページを参照。	可決
議案 25	平成 30 年度那珂市国民健康保険特別会計(事業勘定)予算		可決
議案 26	平成 30 年度那珂市下水道事業特別会計予算		可決
議案 27	平成 30 年度那珂市公園墓地事業特別会計予算		可決
議案 28	平成 30 年度那珂市農業集落排水整備事業特別会計予算		可決
議案 29	平成 30 年度那珂市介護保険特別会計(保険事業勘定)予算		可決
議案 30	平成 30 年度那珂市上菅谷駅前地区土地区画整理事業特別会計予算		可決
議案 31	平成 30 年度那珂市後期高齢者医療特別会計予算		可決
議案 32	平成 30 年度那珂市水道事業会計予算		可決
議案 33	公の施設の広域利用に関する協議について	対象施設の追加、削除、名称変更に伴い、改めて協議し、協定を締結するため、地方自治法に基づき議会の議決を求めるもの。	可決
議案 34	茨城北農業共済事務組合規約の変更について	農業災害補償法が農業保険法に改められたことに伴い、条文中の当該法律名を改め、必要な文言を追加、整理するため、地方自治法に基づき議会の議決を求めるもの。	可決
議案 35	市道路線の認定について	市道路線 14 件の認定のため、道路法に基づき議会の議決を求めるもの。	可決
議案 36	市道路線の変更について	市道路線 14 件の変更のため、道路法に基づき議会の議決を求めるもの。	可決
議案 37	那珂市監査委員の選任について	監査委員 1 名の辞任に伴い後任者を選任するため、地方自治法に基づき議会の同意を求めるもの。	同意

議案等番号	議 案 等 名	内 容	結果
議案 38	那珂市教育委員会委員の任命について	教育委員会委員 1 名の任期満了に伴い同委員を再任するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき議会の同意を求めるもの。	同意
議案 39	人権擁護委員の推薦について	人権擁護委員 1 名の任期満了に伴い後任者を推薦するため、人権擁護委員法に基づき議会の意見を求めるもの。	可決
発議 1	菅谷地内旧歯科ビル及び土地の寄附に関する調査特別委員会の調査に要する経費について	菅谷地内旧歯科ビル及び土地の寄附に関する調査特別委員会の付議事件に対する平成 30 年度の調査経費を定めるもの。	可決
請願 1	日本原電東海第二発電所の再稼働に反対する決議および再稼働しないことを求める申し入れを行うことを求める請願	提出者：木村 静枝 ほか 4 名	継続審査
陳情 2	日本原電東海第二発電所の再稼働に関する陳情書	提出者：先崎 千尋	継続審査
陳情 3	日本原電東海第二発電所の再稼働に関する陳情書	提出者：仲沢 照美	継続審査

総務生活常任委員会

◆議案第24号

平成30年度那珂市一般会計予算

○防災設備整備事業（7億90万9000円）

防災無線が平成34年度よりデジタル化となるため、3カ年計画で設備更新を行うものです。

防災無線デジタル化工事として、約4億7000万円、全国瞬時警報システム（Ｊアラート）更新として約300万円、デジタル化戸別受信機6321台として約2億400万円、ＩＰ無線機75台として約900万円です。

災害後の復興支援のシステムを県内市町村で共同整備を行い、被災者の支援を円滑にするため、罹災証明書交付等システムの共同整備負担金約470万円等です。

産業建設常任委員会

◆議案第24号

平成30年度那珂市一般会計予算

○6次産業化推進事業（246万9000円）

特色ある那珂市農業の6次産業化、販売戦略の構築及び新たな食の流通等のアグリビジネスを積極的に展開し、農業所得の向上と地域農業の活性化を図るものです。

Ｑ これまでの進捗状況はどうなっていますか。

Ａ これまでの米ゲル製品以外に、パスタに米ゲルを混ぜたものが開発されました。県内外での流通が期待されます。

◆報告事項

旧しどりの湯について

旧しどりの湯は、今後静峰ふるさと公園との一体的な利用をするための改修が

進められており、今回は大広間、出入り口の設置、シャワートイレの設置等が行われました。施設管理はシルバー人材センターへの業務委託により管理人を配置する予定です。施設は無料で利用できます。

◆報告事項

那珂市水道事業経営戦略の策定について

この経営戦略はこれからの10年間の計画で5年ごとに見直しを行い、事後検証、更新を行います。内容は「安全で安心できる快適な水道」という基本理念を実現するために、水の安全性の確保、耐震化や広域連携による水の安定供給、収益確保やコスト縮減により水供給の持続という3つの観点に基づく基本計画が立てられました。財源は平成39年度までは積立金を取り崩して補てんし、水道料金の値上げは行わない予定です。それ以降は値上げが必

要になりますが、段階的に
行うなど幅広い検討が必要
です。

教育厚生常任委員会

◆報告事項

新規認可保育所の運営者 選定結果について

那珂市では保育需要が当
面の間、高い状況で推移す
ることが予測されることか
ら、新たに保育施設を整備
することで保育の供給体制



を確保することとなり、新
規認可保育所に社会福祉法
人新世会を選定しました。

Q 建設地の所有者は誰で
すか。

A 社会福祉法人新世会で
す。

Q 現時点での待機児童は
何名ですか。

A 平成29年10月1日現
在、19名です。

Q 新規保育所開設によっ
て待機児童はなくなります
か。

A 大丈夫と考えていまし
たが、国の保育料無償化な
どによって状況は変わって
きています。明言はできま
せんが、今よりは子育て支
援に貢献できると思いま
す。

原子力安全対策常任委員会

◆請願第1号

日本原電東海第二発電所
の再稼働に反対する決議
および再稼働しないこと
を求める申し入れを行う
ことを求める請願

◆陳情第2号

日本原電東海第二発電所
の再稼働に関する陳情書

◆陳情第3号

日本原電東海第二発電所
の再稼働に関する陳情書

請願第1号、陳情第2号、
陳情第3号は同様の内容で
あるため、一括して審査す
る形をとり、それぞれの提
出者から直接説明を受けま
した。

これらの請願・陳情は、
日本原電が東海第二発電所
を再稼働させる意思がある
ことは明白であるように思
われること、東海第二発電

所の周囲30キロ圏内には約
96万人が居住しており避難
は極めて困難であること、
東海第二発電所は最も古い
沸騰水型原発であり安全性
への不安があること、不測
の事象に対しては絶対の安
全はないこと、事故に至れ
ば住民の生命だけでなく財
産や生活基盤に対しても甚
大な被害が及ぶこと、現状

では原発を稼働させなくて
もエネルギーは十分に賄え
ていることなどから、日本
原電東海第二発電所の再稼
働反対決議の採択及び日本
原電への再稼働反対の申し
入れを求めるものです。

委員からは、様々なリス
クから原発はなくすべきで
あるという意見、東海第二
発電所の再稼働はまだ明確
ではなく、地球温暖化対策
や経済発展、技術にかかわ
る人材育成なども重要であ
ることから今は見守るべき
との意見が出され、賛否双
方の立場から議論が交わさ
れました。

その中で、反対する立場
だけではなく専門的な見解
を伺うことも視野に入れつ
つ、議論を深めたうえで判
断したいとの理由から継続
審査とすべきであるという
意見が出され、採決の結果、
全会一致で継続審査とすべ
きものと決定しました。

臨時会

◆会期 1日間 1月17日（水） 《傍聴者 なし》

今回提出された議案等は

市長提出案件：2件

計2件

◆報告第1号

専決処分について（損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定）

市の過失による事故等に対する損害賠償額を報告するものです。
この案件は報告を以って終了しました。

◆議案第1号

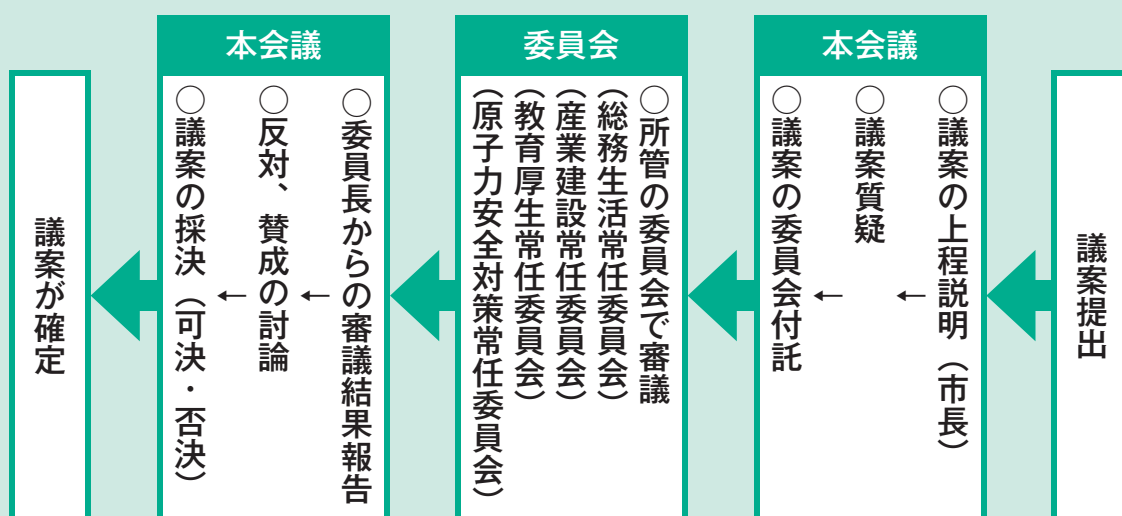
建設工事請負契約の締結について

新たに市立幼稚園を建設するための工事請負契約を締結するものです。工期は契約締結翌日から平成30年11月15日までを予定しており、契約額は4億3740万円とのことです。
採決の結果、全会一致で可決されました。

★議会の豆知識！

【議案審議の流れ】

◎那珂市議会では、議会に提出された議案は本会議と委員会を行き来する形で審議されます。議案提出から採決までの具体的な流れは、以下のようになっています。



議員勉強会

今後の議会報告会の在り方についてグループ討論



昨年11月に早稲田大学マニフェスト研究所で「議会報告会」を研修テーマとする地方議会議員向けの合同研修会に参加しました。今回の勉強会はその合同研修会で学んだことを那珂市の実情に合わせ、より開かれた親しみのある議会報告会にすることができるかグループ討論を行いました。

これまでは議会から報告し、市民の意見を聞くという対面方式でしたが、これからはグループ分けをし、テーマを設定した座談会方式に変更することで、より多くの市民の声を身近に聞けるというのが全議員一致の考えでした。

次に、報告会のネーミングも「議員と語ろう会」「議会トークカフェ」など各年代からも親しみやすくし、参加対象者に合わせて平日、休日、昼夜を分けて開催したり、産業祭やまちカフェ、ひまわりフェスティバルなど市民が集まる場所で行うなど、各グループから参加者の固定化を解消する案が出されました。

市民とともに課題解決に向けて話し合うことができ、そのような報告会を目指し、今後那珂市議会が広聴に関する部分をどのように強化していくのかも討論され今後の課題となりました。

議会報告会とは…

議員が直接地域に出向き、議会活動の状況を報告・説明する催しです。住民に対して情報を提供するとともに、ご意見やご要望などをいただくことができる貴重な機会となっています。

那珂市議会では議会基本条例第7条に基づき、平成26年から毎年1回以上開催しています。1回の開催につき市内2カ所で実施する形式をとり、これまで5回開催しました。

日時 平成30年1月30日（火）午前10時～
午前11時30分
場所 那珂市議会 全員協議会室

一般質問

Q & A

《質問者 9名》

※一般質問の記事は、質問した議員が各自で作成しています。

P15 木野 広宣 議員
◇マイナポータルについて
◇市民の健康づくり推進について

P15 富山 豪 議員
◇静峰ふるさと公園について
◇スポーツと賑わいづくり
◇新しい防災について
◇市営住宅について

P16 小宅 清史 議員
◇フリーライダー問題を考える
◇菅谷地区市街地限界論について考える
◇那珂市の「働き方改革」について考える

P16 寺門 厚 議員
◇学校施設及び学校環境衛生について
◇歴史民俗資料館について

P17 遠藤 実 議員
◇那珂市都市計画について
◇市内の大型計画について
◇防災体制の推進について

P17 古川 洋一 議員
◇市長の公約等について
◇企業誘致について
◇総合公園グラウンドの利用について
◇公共交通について

P18 笹島 猛 議員
◇自主財源の現状について
◇自治体経営と戦略について
◇都市計画マスタープランについて

P18 花島 進 議員
◇国民健康保険の広域化に関連して、国保税負担、市の財政負担について
◇地域の交流館などへの補助金について
◇学校職員の勤務状況について
◇空き家バンク制度と周辺地域の振興策、区域指定について
◇地震予測について

P19 助川 則夫 議員
◇本年度当初予算編成について
◇下水道整備事業について
◇米の減反政策廃止について

一般質問とは…

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して行う質問です。

市民の健康づくり推進について

特定保健指導の実施状況は

きめ細やかな健康相談を実施



木野 広宣 議員

Q 那珂市の特定健康診査受診後の指導実施状況と過去3年の実績値について伺います。

A 保健福祉部長 受診後の結果で保健指導が必要となった方に対しては、市内各地区ごとに担当保健師や管理栄養士がきめ細やかな個別指導の健康相談や保健指導をしています。特定保健指導実施率は平成26年度が52.9%、27年度が66.2%、28年度が73.9%となっており、平成27年度からは県内で第1位になります。

Q 健康寿命の延伸についてどのような取り組みをされるのか伺います。

A 保健福祉部長 各種スポーツができる多目的広場を整備し、市民が健康づくりに率先して取り組める場所を提供し、健康プラン那

珂21においても健康寿命を伸ばし、平均寿命との格差を縮小することを目標に推進しています。

平成30年度より、那珂健康増進計画を新たに策定し、各ライフステージにおける健康診査受診率の向上、健診結果に基づく保健指導の充実を柱に、生活習慣病予防健診などの基本健診や各種がん健診事業を実施し、心の健康づくりのための講演会やゲートキーパー養成講座の開催、各種健康相談を実施して市民の健康づくりの支援施策を行い、乳幼児期から高齢期までが健康で生きがいを持って暮らせるような保健体制の充実を引き続き図っていきたいと考えています。

市営住宅について

改修はどのように行うのか

長寿命化計画に基づいて行います



富山 豪 議員

Q 現在、約20戸の空きがある市営住宅、どのような募集方法をとられているのか伺います。

A 建設部長 老朽化した住宅を除き公募により行っているところですが、近年の応募状況を勘案し、昨年度からは静駅前住宅を、今年度からは鷺内住宅を随時募集に切りかえました。鴻巣住宅については、年3回の定期募集を行っているところですが、

Q どのような募集広報をしているのか、伺います。

A 建設部長 年3回の募集に合わせて、広報なかのおしらせ版に掲載をしており、またホームページやメールマガジンなどでも情報を提供しています。

Q 広報などの頻度を上げてみてはどうか伺います。

A 建設部長 おしらせ版

で周知をしているところですが、ホームページと併せ、情報内容を見直していきたいと考えています。

また入居者募集の問い合わせがあつた時には積極的に空き情報を提供していきたいと考えています。

Q 比較的に新しい住居でも外観に傷みがあると感じましたが、入居率を上げるためにも改修は必要だと思います。改修はどのように行っているのか伺います。

A 建設部長 退去者にはふすまや畳などの修繕を行っていただいています。壁や床などの内部改修は市が行っているところですが、外壁改修等は費用がかさむことから、長寿命化計画に基づいて順次、改修を始めたところです。

菅谷地区市街地限界論について考える

J A跡地に菅谷交流センターを 駅前の好立地を活かし検討する



小宅 清史 議員

Q 上菅谷駅前のJ A常陸の借地とシルバー人材センターの建物を解体し、菅谷交流センターを建設してほしいと要望します。そこには屋根付きの多目的広場を作り、雨の日でもミニコンサートや運動などができ、市民が集える場所にしていただきたいです。

A 企画部長 上菅谷駅前のJ A常陸の借地、シルバー人材センターの土地・建物の賃貸借契約がまだ残っております。跡地利用については現時点では具体的検討をする段階に至っておりません。仮に返還となった場合には、議員ご提案の交流センターも含め、上菅谷駅前という好立地条件を活かし、地域の活性化に結びつく有効な跡地利用が図れるよう然るべき体制・協議体をもって検討を

重ね計画的に対応していきます。

Q 菅谷のコミュニティセンターの立地について市の考えをお聞かせください。

A 市民生活部長 候補地については平成30年から菅谷まちづくり委員会や自治会の代表者の建設準備委員会を組織し選定を進めていく予定です。



旧J A常陸東部支店

学校施設及び学校環境衛生について

小中学校のエアコン整備計画は 来年度の実施計画に計上していく



寺門 厚 議員

Q 茨城県の小中学校へのエアコン設置率は普通・特別室合計で42・8%となっています。本市における小中学校の冷房関係は、平成25年度までに小中学校へ扇風機が整備されていますが、毎年夏の35度を超える酷暑は、勉学の環境としては決して好ましくありません。この環境改善にはエアコン整備が急務です。今後のエアコン整備計画について伺います。

A 教育部長 近年の温暖化に対応するために、市内の小中学校の普通教室には扇風機を設置し、パソコン室・保健室・職員室・校長室にはエアコンを設置してきました。このエアコンが整備後20年弱経過し、老朽化による故障が懸念されており、各学校ごとの整備方針について検討を始めたところ

です。まずは既存のエアコンの更新を優先し、整備個所や整備年次等の調査・検討を行い、来年度の実施計画に計上していきます。

Q 老朽化対策が先だということは分かりますが、普通教室への整備を急いでは難しいです。学校施設環境改善交付金等の有効活用を図り、早くエアコン設置ができるよう整備促進をお願いします。

では、来年度の実施計画に計上されると最短でいつ頃の設置になりますか。

A 教育部長 小中学校の普通教室だけでも180程度あり、今後実施計画策定の中での調整を経て具体化していく予定です。

防災体制の推進について

小中学校や福祉避難所でも訓練を 関係者と協議を重ねて訓練する



遠藤 実 議員

Q 市は昨年に初めて市内一斉の防災訓練を実施しましたが、事前の自治会への説明が不十分だったのではないのでしょうか。

A 市民生活部長 今後はさらにきめ細かい説明会を催すようにして、理解していただけるよう努力します。

Q 避難所に関してですが、今回小中学校は防災訓練に一切参加していません。実際に避難所を開設して地域の方を受け入れ、運営することができるようになっているのでしょうか。また、障がい者が避難する福祉避難所とも今回連携できていませんでした。さらに、コミュニティセンターのような拠点避難所にも地域の方が避難してきますが、これらには通常、職員が数名しかおられません。

これで対処できるのか、避難所開設の訓練をするべきではないのでしょうか。

A 市民生活部長 今回は学校と福祉避難所には参加依頼をいたしませんでしたが、今後関係者と協議を行っていきます。また、拠点避難所においても初動開設を含めて実務的な運営訓練を実施します。

Q あの大震災のときに何が起こっていたか、事実を知って明日へ伝える事業をやりませんか。市民から市報やホームページで呼びかけ、体験談や事実の全てを記録することは今後市執行部の防災活動指針につながるのでは。

A 市民生活部長 今後、市民や事業者から情報を提供していただき、後世に伝え伝承する形を整えていきたいと考えています。

総合公園グラウンドの利用について

野球場・グラウンドの有効活用を 利用者のご相談に対応します



古川 洋一 議員

Q 総合公園内野球場及び多目的グラウンドの利用に際し、空いていても半日しか借りることができないという話があります。複数チームを招いての練習試合等を半日で行うことは、準備や片付けの時間まで考えますと実施は不可能です。有効利用の観点からも、大会の開催以外でも、市内の利用団体に対しては状況に応じて弾力的に運用していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

A 教育部長 競技を続けていくモチベーション高揚のためにも、試合により実力を試すということはスポーツ振興には必要です。で、複数チームでの試合形式をお考えであれば、お申し込みの際にご相談いただければ対応します。

Q 大会や練習試合に遠方

から参加してくださるチームは宿泊を要する場合がありますが、市内に宿泊施設がないことから、地元チームとして恥ずかしい思いをしています。ホテルではなく、最低限の簡易的な設備、イメージとしては合宿所のような施設で良いと思います。総合公園だけでなく、かわまちづくり制度を利用して那珂川沿いにできる多目的グラウンド等を利用しての合宿を誘致することも可能になります。市有地や市有建築物の再利用も含めて、宿泊施設の建設について市長の所見を伺います。

A 市長 宿泊施設は自治体が行うものではなく、民間でやっていたかと思えます。水戸市下国井の農村研修館も宿泊が可能な施設の一つです。

自主財源の現状について

どう立ち向かう行政経営リスク

創生総合戦略を進めます



菅島 猛 議員

Q 地方自治体の財源は自主財源と依存財源で構成されています。自主財源比率を高めるためには、人口増や企業の誘致などがありますが、本市の独自財源確保について伺います。

A 市長 人口増や企業誘致のため、いい那珂暮らし促進事業やよろず相談事業などを進め、自主財源確保に一層の努力をします。

Q 自治体経営は、地域の継続性の確保であり、限られた財源を有効に利用し、人口減少に対応したまちづくりです。現在の行政経営のリスクにどのように立ち向かうのか伺います。

A 市長 まち・ひと・しごと創生総合戦略の一つには人口還流戦略を掲げ、移住相談窓口の設置、子育て世代への住宅助成、ICT教育の充実等の事業を実施

しています。

Q 定住環境の創出に向けて一番重要なのは働く場の確保です。那珂市を選んでもらうための安定的な働く環境の政策を伺います。

A 市長 地元大学・企業との連携による就職支援や那珂西部工業団地への企業誘致など働く場の創設に努めます。

Q 立地適正化計画は持続可能な集約型都市の実現を図るため策定するものですが、全ての市民が安全・安心かつ快適に暮らせるコンパクトなまちづくりのため、策定の予定はありますか。

A 建設部長 計画策定は未定ですが、都市の現状と課題を抽出し、将来的には取り組みなければならないと認識しています。

国民健康保険の広域化に関連して、国保税負担、市の財政負担について

市民の国民健康保険税負担は

国保税の税率等は、現状を維持



花島 進 議員

Q 本年4月から、「国民健康保険（以下、「国保」）広域化」として、会計の責任主体が茨城県になります。

広域化は、財政基盤が強い自治体、弱い自治体いろいろある中で、平準化を図るためなどと言われていますが、各市町村が、一般会計から国保に独自に予算を繰り入れることに対して、国や県が干渉を強めることが懸念されます。

来年度の国保加入者の国保税負担がどう変わるのか、変わらないのか。また、国保税の将来見通しを示してください。

A 保健福祉部長 国の「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律」が制定されたことにより、国保は、県と市町村

の共同運営となります。そのなかで、県が市町村から「事業費納付金」を徴収する制度となりました。

当市の平成30年度国民健康保険特別会計予算では、歳入歳出総額58億300万円のうち、県に納付金として、総額17億7411万円を計上しています。国保税収の伸びが見込めないことにより、歳入の不足が想定されるため、一般会計から昨年度同額の1億円（その他繰入）、国保の支払準備基金から1億4408万7000円（基金の取り崩し）の繰入などを行うことにより、国保加入者の皆様に負担していただく国保税の税率等については、現状を維持することとします。

下水道整備事業について

下水道事業は次期計画の見直しを

新たな全体計画策定に向け準備中



助川 則夫 議員

Q 公共下水道事業は、今後認可申請も含め計画見直しの検討に入らなければならぬ時期だと考えます。次期計画は見直しをかけるのか伺います。

A 上下水道部長 未計画区域には、約4700世帯の方がお住まいですので、全てを公共下水道で整備を行いますと、完成までにはかなりの長い年月を要します。

国は、平成38年度までに生活排水処理を行っている汚水処理人口普及率を95%以上にする目標を掲げており、早急な取り組みが必要です。これまで以上に合併処理浄化槽による対応も必要ですが放流先の有無が課題です。

今後、県の全体計画変更時期が平成34年度ごろになると予想されており、市で

は平成33年度ごろまでに未計画区域の整備手法を決めた新たな全体計画を策定する必要があります。現在、課題等の洗い出しを進めているところです。



平成30年度整備地区
(戸多、額田、中里、後台)

●百条委員会●

菅谷地内旧歯科ビル及び

土地の寄附に関する調査特別委員会

証人喚問により土地・建物の寄附に至る経緯に 関して新たな証言

当該調査特別委員会は、昨年12月25日に第1回目を開催し、以降本年3月22日までに5回開催し、現在も調査を継続中です。

これまでに土地・建物を市に寄附した相続人等を証人として呼び出し、寄附に至る経緯を中心に質問を行い、「市からどのような条件提示があったか」については、「市からは『市に寄附してくれば、建物の解体は市が行う。また、これまで課税保留していた税金も免除する』といった条件提示があったので市に寄附することを決め、寄附申出書に署名した」との証言が得られました。一方、市執

行部からも「寄附と解体はセットだった」ことを認める証言も得られております。また、客観的な建物の危険度や相続人の資力の有無を判断する根拠についても調査中です。

しかしながら現時点で証言をいただけていない方もいることから、全容解明に向けてもう少しお時間をいただきたいと思います。なお、証人喚問は個人情報保護観点から非公開で行っておりますが、今後は委員会の審議を可能な限り公開していきたいと考えています。

閉会中 議会活動レポート

定例会閉会中（12月～2月）の那珂市議会の主な活動をご紹介します。

この委員会は、平成28年9月に設置され、市議会災害対応指針の策定、災害時の議員連絡体制の確立、災害時の市との連絡体制の確立の3つの事項について調査・研究を行ってきました。委員会では、これまで約1年半に渡る調査の中で、那珂市議会災害対応指針の策定、那珂市議会災害対策

災害対応調査特別委員会

災害対応についての方針を固め調査完了

会議設置要綱の改正などを行いました。また、昨年11月には、市の総合防災訓練に合わせて市議会災害対策会議を設置し、参集及び安否確認の訓練を実施しています。これらのことから、委員会の所期の目的は達成されたものとし、調査を完了することとしました。

◆主な調査経過

- 平成29年2月 災害対応指針策定
- 平成29年5月 原子力災害時の避難ガイドマップに基づき避難ルートを確認
- 平成29年11月 市総合防災訓練に際し参集及び安否確認訓練
- 平成28年～29年 市議会災害対策会議設置要綱一部改正（3回）

活動日誌

12月

- 15日 議会広報編集委員会
- 25日 百条委員会

1月

- 4日 議会広報編集委員会
- 12日 議会広報編集委員会
- 17日 臨時会
- 百条委員会
- 23日 産業建設常任委員会視察
- 25・26日 総務生活常任委員会視察
- 27日 議会広報編集委員会取材
- 29日 岡山県笠岡市議会視察来庁
- 30日 議員勉強会
- 百条委員会

2月

- 2日 県市議会議長会議員研修会
- 6日 産業建設常任委員会
- 9日 総務生活常任委員会
- 15・16日 横手市議会友好訪問
- 19日 百条委員会
- 20日 議会運営委員会
- 26日 議会運営委員会
- 全員協議会
- 議会広報編集委員会

※活動日誌中「百条委員会」＝「菅谷地内旧歯科ビル及び土地の寄附に関する調査特別委員会」

常任委員会調査報告

調査結果を集約し執行部に要望書を提出

◆総務生活常任委員会

◎調査事項

ソーラー発電施設の設置
指導等について

《継続調査》

平成30年1月25日、26日に山梨県北杜市、甲州市にて太陽光発電の設置指導要綱についての視察を行いました。山梨県は、日照率の良いところであり、大型太陽光発電設備が多数設置されており、設置時の指導等について調査をしてきました。

太陽光発電施設が環境に与える問題（排水や土砂災害等）、施設廃止時の撤去の問題（大量の産業廃棄物になります）、太陽光発電施設設置時の指導などについて調査研修をしました。2月の委員会において協議をし、規制もできる条例

にすべきではないか、さらなる調査が必要ではないかとの意見もあり、継続調査となりました。

◆産業建設常任委員会

◎調査事項

下水道整備について

《調査完了》

那珂市の下水道事業は、整備が遅れており先行きも不透明です。整備の地域格差も課題であり、排水先が十分に確保されていない地域では様々な問題が出ています。市下水道課が実施したアンケート結果からは、公共下水道での整備を望む声も見受けられますが、今後はより計画的かつ長期的な見通しが必要です。以上のことから今後の下水道整備に当たり次の点について要望書を提出しました。

1 早急に市としての方向性、計画を明確にし、市民に遺漏なく説明すること。

2 整備コスト、整備効率といった観点から、市町村設置型合併浄化槽など、公共下水道以外の手法も研究すること。

3 今回実施したアンケートを含めて現状把握を十分に行い、住民の理解を得ながら地域の実態に合った方法を検討すること。

4 排水先確保については雨水排水も含め、関係各課での連携を強め対策すること。

◆教育厚生常任委員会

◎調査事項

教育環境に対する支援

《調査完了》

「教育環境に対する支援」に関し、先進地視察や那珂市校長会役員との懇談会等を通して調査・研究してきた結果を踏まえ、次の事項

について執行部に要望しました。

1 学校施設の整備

○エアコン・扇風機整備

○トイレの洋式化とプライバシーに配慮を

○オープンスペースの改善（開放的というメリットと授業に集中できないデメリット）

2 ICT教育や地域を巻き込んだ授業の充実

○ICT教育の推進

○コミュニティスクールの推進

○部活動への支援

3 学校用務員・ICTサポート・学習指導員・生活指導員等の人的配置

4 教員の負担軽減

○校務支援ソフトの導入

5 追記

○「教育」とは、「子供たちへの想い」であり「将来への投資」である。首長の想いを事業に反映させること及び教育長に発言力を持たせることを期待する。



まちかど

ニュース

第6回 いいなかパーティー

(ふれあいパーティー開催支援事業)

那珂市商工会青年部主催

平成30年2月3日(土)

ホテル テラス ザ ガーデン水戸にて

次回 6 月定例会

日	月	火	水	木	金	土
5/27	28	29	30	31	6/1	2
3	4	5	6	7	8 本会議 (議案上程など)	9
10	11	12 本会議 (一般質問)	13 本会議 (一般質問)	14	15 総務生活 常任委員会	16
17	18 産業建設 常任委員会	19 教育厚生 常任委員会	20 原子力安全対策 常任委員会	21	22	23
24	25	26 議会運営委員会 全員協議会	27 本会議 (委員長報告 議案等採決)	28	29	30

※会議は、原則として午前10時開会です。

平成30年第2回定例会:6月8日~27日

平成30年第2回(6月)定例会の日程(案)は左のとおりです。

会議は原則公開となっております。所定の用紙にご記入いただくだけで、どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。

また、請願・陳情を議会へ提出される場合は、5月29日(火)17時までに、議会事務局までご提出ください。

議会録画映像を公開しています

那珂市議会では定例会、臨時会の本会議の録画映像を「You Tube」の動画サイトで公開しております。詳しくは、那珂市ホームページの「那珂市議会」のページをご覧ください。

(「那珂市議会」のページ内の「議会中継」から「You Tube」を開くことができます。)



編集後記

各委員会が新たに構成されました。我が新生広報編集委員会は市民に開かれた議会、市民により近い議会を目指すために、広聴機能を含めた広報活動を強化していきます。

さらに議会情報をSNSなどでスマホ等に発信し、市民の皆様が那珂市議会を肌身離さず生活できる社会を目指します。以上が委員長の所信表明です。(^^)(大和田和男)

議会広報編集委員会

委員長 大和田和男
副委員長 富山 豪
委員 筒井かよ子
委員 古川 洋一
委員 勝村 晃夫
委員 遠藤 実